

令和元年度「原子力人材育成ネットワーク」報告会  
令和2年2月12日(水) 於 AP虎ノ門

# ネットワーク事務局の活動報告



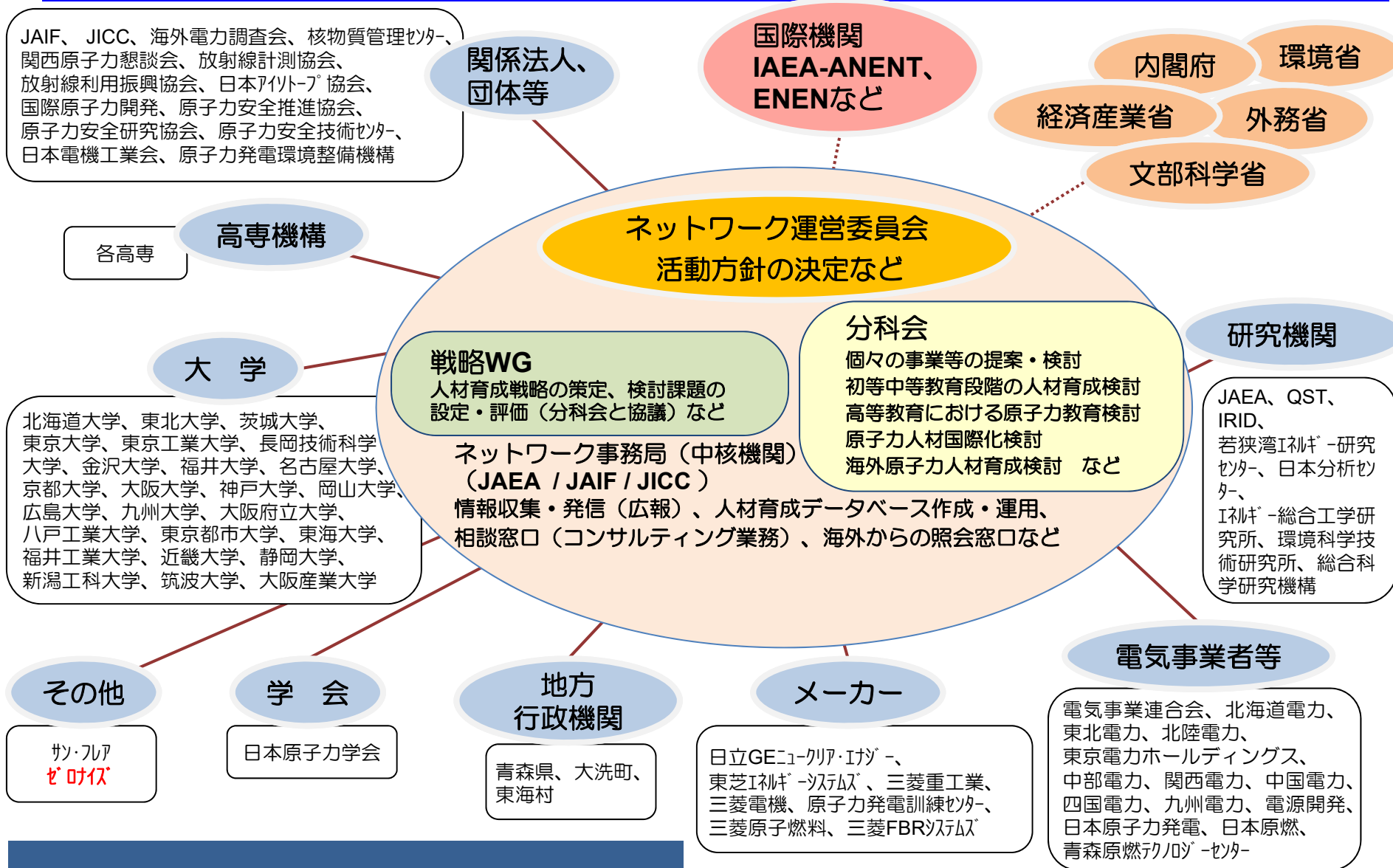
## 原子力人材育成ネットワーク事務局

(国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 原子力人材育成センター)

(一般社団法人 日本原子力産業協会)

(一般財団法人 原子力国際協力センター)

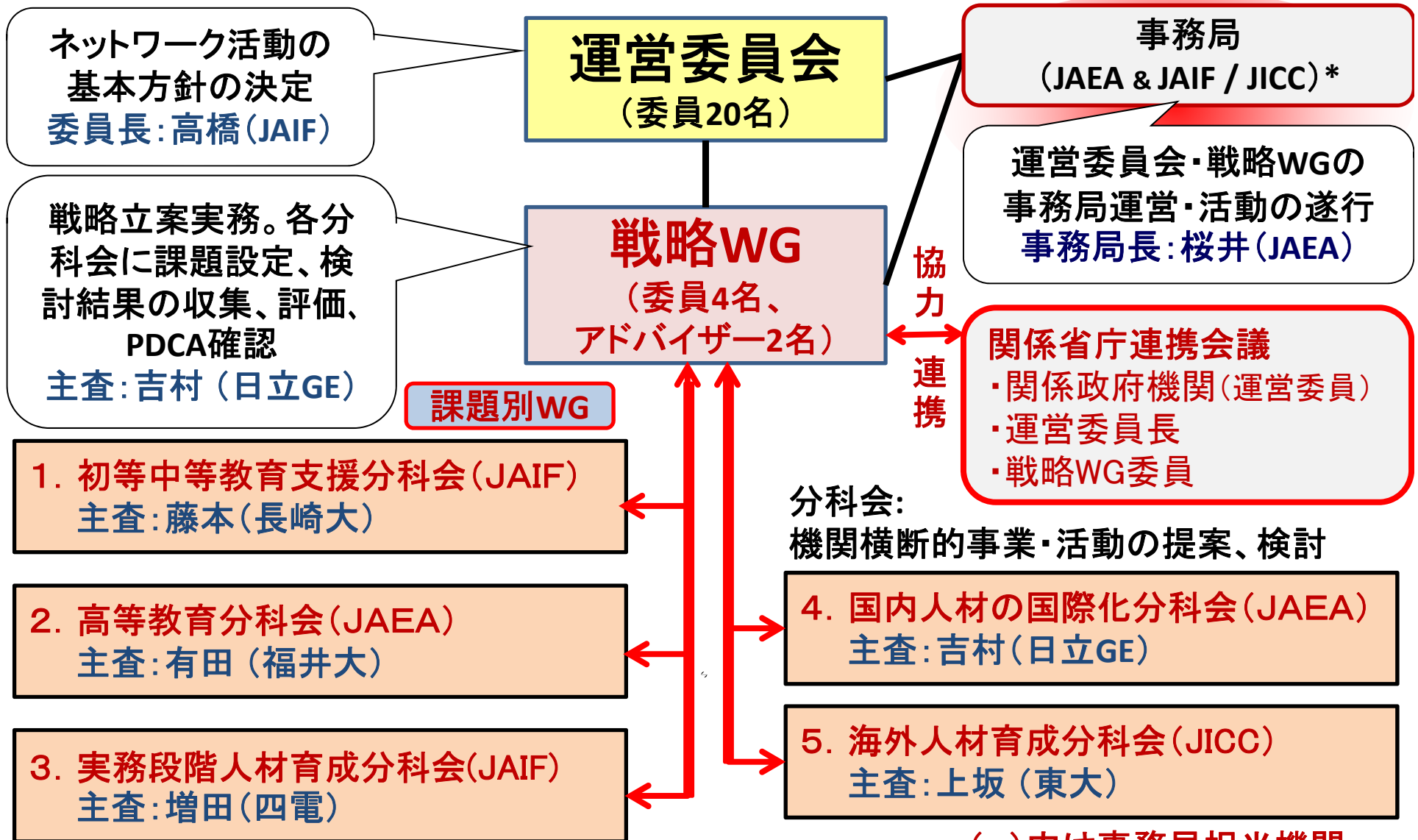
# ネットワーク参加機関



今年度は、新たに「ゼロナイズ」がネットワークに参加

参加機関数 80機関  
(令和2年2月12日現在)

# 組織体制



\* JAEA: 日本原子力研究開発機構

JAIF: 日本原子力産業協会

JICC: 原子力国際協力センター

# ネットワーク会合の開催・運営

会合名称		開催回数 (令和元年度)
ネットワーク運営委員会		2回
戦略WG		2回
分科会	高等教育分科会	3回
	国内人材国際化分科会	3回
	初等中等教育支援分科会	3回
	実務段階人材育成分科会	4回
	海外人材育成分科会	3回
その他の会合(原子力マネジメントスクール事務局会合及び実行委員会、 (戦略WG事務局会合、報告会等)		25回程度
計		約45回

## 学生の動向調査、企業・機関の採用状況調査(JAIF)

- ◆ 原子力人材育成の基礎データ
- ◆ 原子力企業・機関における人材確保・育成の現状を把握
- ◆ 産官学における人材育成促進策を検討するための参考

## 原子力施設見学会

【開催日】2020年3月17日

【見学先】千代田テクノル(株)、JAEA 大洗研究所

## 原子力に関わる情報収集・公開

ネットワークホームページにて以下のリストを公開

[https://jn-hrd-n.jaea.go.jp/network\\_list.php](https://jn-hrd-n.jaea.go.jp/network_list.php)

- ◆ 原子力関連の研究者・研究室
- ◆ 原子力関連の学会会議
- ◆ 原子力関連の施設見学・インターン・研修等

## 原子力委員会の見解に係る意見交換

- ◆ 原子力分野に興味を持ってもらうための方法、活動について
- ◆ 知財の一極集中による原子力教育の可能性について
- ◆ 高等教育機関における教育の評価の状況とその効果・有用性について 等



## 課題・次年度の活動予定

### ① 令和2年度に引き続き実施していく活動

- ・学生の進学志望分野等動向調査、企業・機関の採用状況調査
- ・学生を対象としたネットワーク参加機関の活動の情報共有（HPの更新）
- ・有用な教育コンテンツの共有と情報発信

### ② 次年度に向けて新たに検討する活動

学生に興味を持ってもらうためのコンテンツ作成、研究室の見える化促進  
**戦略的課題**に基づく活動

今年度、分科会にて意見交換を行った事項：

- －大学間の協力の促進
- －実験施設の共用や講義の共同実施
- －イベントの状況と問題点の共有
- －原子力人材確保のための情報共有（教員・研修室・テキスト等の情報共有）





# 国内人材の国際化分科会 – 令和元年度の活動

## 世界原子力大学・夏季研修(WNU-SI)への参加・支援

2019年6月23日(日)～7月27日(土)

2019年WNU-SIの支援(5名: 東京電力、関西電力、日立GE、東芝(株)、三菱重工)

## Japan-IAEA 原子力エネルギーマネジメントスクール開催

2019年7月16日(火)～8月1日(木)

【参加者】 34名

外国人研修生 19名(11か国) / 日本人研修生 15名

【開催地】 東京大学及び福島県、福井県、兵庫県

## 原子力国際人材養成コース(JAEA)開催

2019年12月16日(月)～19日(木)

【参加者】 19名 (電力 / メーカー / JAEA)

【開催地】 ブリティッシュ・ヒルズ(福島県天栄村)



## IAEA国際スクール 原子力・放射線安全リーダーシップの日本開催への支援

東海大学を事務局として実行委員会を設置し、会場、プログラム、サイトツアー、ファシリテーター等を選定。2020年2月17日-28日の2週間で実施

## WNU-SI 2020の日本開催への協力

準備委員会を設置し、開催地、日程、WNU-SIへの支援等について調整中。2020年6月15日-7月20日の5週間で実施

## 課題・次年度の活動予定

- ① 令和2年度に引き続き実施していく活動
  - Japan-IAEA 原子力エネルギーマネジメントスクール2020の開催
  - 2020年WNU-SI派遣支援
  - 2020年WNU-SI日本開催
  - JAEA原子力国際人材養成コースの開催
  - IAEAのInternational School開催支援
- ② 次年度に向けて新たに実施する活動
  - 既存のスクールの研修効果の確認、ニーズ/ギャップ調査
  - 戦略的に参加すべき国際会議のリストアップ
  - 戦略的課題**に基づく活動

今年度、分科会にて意見交換を行った事項(例):

- IAEAやWNUなどと協力して実施する研修において、どう戦略的に日本の活躍に結び付けていくか(日本人講師の海外スクールでの活躍等)
- スクール卒業生のフォローアップについて



## 令和元年度の取組み(成果)

### ①戦略的課題に基づく活動(戦略WGとの協働含む)

- ・戦略WGとの意見交換実施し、人材育成に関する課題の整理、目標の共有を行った。分科会では、原子力委見解を受けた分科会活動の現状と今後の対応方針を検討し、戦略WGへ報告を行った。

### ②廃止措置人材および人材育成について(戦略的課題)

- ・廃止措置人材要件の切り口から新たな教育訓練の必要性を検討した。

### ③教育訓練施設の現地調査

- ・味の素川崎工場を訪問し、食品産業の生産活動、安全管理について調査した。



## 課題・次年度の活動予定

### ①戦略的課題に基づく活動(戦略WGとの協働含む)

- ・戦略的活動に関する継続的議論、新規活動テーマの検討
- ・関係省庁連携会議に向けた分科会からの要望・課題出し

### ②廃止措置人材および人材育成について(戦略的課題)

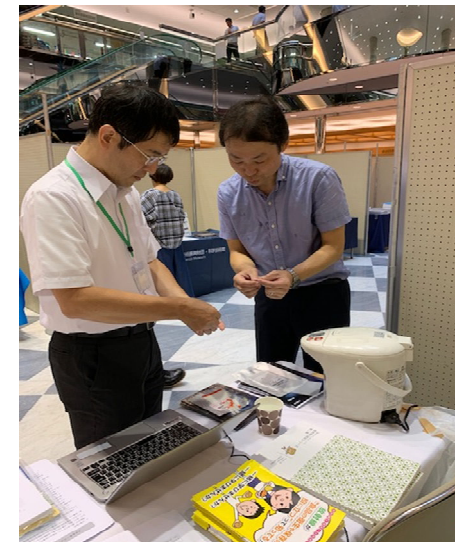
- ・廃止措置人材要件(知識・技能等)の検討結果報告と意見交換

### ③人材育成NW関係機関との連携強化

- ・日本原子力学会 若手連絡会の支援

## 人材育成ロードマップ: 初等中等教育段階での理科教育、エネルギー・環境教育

- ① 活動の共有、良好事例の普及
  - ・教育支援事業について情報共有
  - ・IAEA中高生コンペ(令和2年6月、モスクワ)の参加募集案内(12月)
- ② 教育支援活動情報の見える化
  - ・「放射線教員セミナー・教材の一覧表」の作成、教員への配布(8月)
- ③ 初等中等教育関係者との連携
  - ・近畿大学原子炉教員研修会の開催支援(8月)
  - ・全中理(全国中学校理科教育研究会)大会のブース出展(8月、秋田)
  - ・教員施設見学会(10月、放医研)
- ④ 日本原子力学会との連携／教科書記述調査
  - ・高校社会科教科書の記述調査への協力
- ⑤ 戦略WGとの意見交換
  - ・エネルギー教育支援活動の検討



## 課題・次年度の主な活動予定

- ① 活動の共有、良好事例の普及
- ② 教育支援活動情報の見える化
  - ・「教員セミナー・教材の一覧表」の作成、教員への配布(8月)
- ③ 初等中等教育関係者との連携
  - ・近畿大学原子炉教員研修会の開催支援(7~8月)
  - ・全中理(全国中学校理科教育研究会)大会のブース出展(8月、福岡)
  - ・教員の施設見学会(近大研修会や全中理大会の参加教員)(夏頃)
  - ・施設見学マップの作成
- ④ 日本原子力学会との連携／教科書記述調査
  - ・教科書の記述調査への協力
- ⑤ 戦略的課題に基づく活動
  - ・戦略WGとの意見交換



## 令和元年度の取組(成果)

### ① IAEA原子力発電整備関連訓練コースの計画と実施

- IAEA が原子力発電新規導入国・拡大国を対象に基盤整備19項目の中でテーマを絞って、日本のホスト機関(原子力人材育成ネットワーク、東京大学、若狭湾エネルギー研究センター、JICC)と共催する訓練コース。
- 本年度にはStakeholder Interaction (SI) とSystematic Approach to Training (SAT)の2つのコースを実施。  
両コースとも今年から開始されたコース(First of A Kind)。



### ② 国内人材の国際化分科会と協働した 日本-IAEAマネジメントスクールの実施



### ① IAEA共催訓練コースの準備(実施委員会の3回程度の開催を含む)及び実施

- 2020年9月末にステークホルダーインボルブメントをテーマに2週間の訓練コース、2020年11月末に原子力基盤整備19項目をテーマに3週間の訓練コースを実施する予定

### ② 国内人材の国際化分科会と共同した日本-IAEAマネージメントスクールの準備及び実施

- Net 環境を利用した情報共有とフィードバックの即応化の推進





The screenshot shows the homepage of the Nuclear Human Resource Development Network (JN-HRD.NET). The header includes the logo, the text '産学官連携 原子力人材育成ネットワーク Nuclear Human Resource Development Network', and navigation links for 'English | サイトマップ' and '検索'. A main navigation bar contains 'HOME', '原子力人材育成ネットワークとは', '人材育成への取り組み', '研修・施設・講師検索', and 'リンク'. A central banner features a photo of people in a laboratory and the text: '原子力人材育成ネットワークでは、国内外の原子力関連機関の相互協力や人材育成活動の実施を支援しています。' Below the banner is an 'お知らせ' (Notice) section with two entries: '2019年01月31日 NEW 「原子力人材育成ネットワーク」報告会のご案内 (原子力人材育成ネットワーク) ・参加申込書' and '2018年11月01日 「平成31年度 特別研究生募集」のご案内 (日本原子力研究開発機構)'. To the right of the notices are three buttons: '研修・施設・講師検索', 'ネットワーク活動近況報告', and 'ネットワーク活動予定表'. A '>>バックナンバー' link is also visible.

## 各種情報収集・発信

- HPの維持(国内関係機関からのイベント情報、募集依頼、人材育成情報データベース[研修、施設、講師]のアップデート、新規にて原子力関連の研究者・研究室、学会会議、施設見学情報のページ作成)
- ニュースレター配信[四半期毎]など

## IAEA技術研修員受入対応(令和元年度、令和2年2月5日現在)

受付件数45件:実施完了34件(前年度繰越13件を含む)、  
実施中6件、調整中11件、キャンセル7件

受入先機関:JAEA、金沢大、精神・神経医療研究センター、群馬大等

## 継続していく活動

- ◆ ネットワーク各種会合の開催
  - **産学官**での人材育成情報、共有の機会の維持
- ◆ ネットワークの対外窓口としての活動、プレス対応、**広報活動**
- ◆ 国際ネットワーク構築の推進
  - IAEA等と連携した国際協力
- ◆ 原子力エネルギーマネジメントスクール、原子力発電基盤整備訓練コース等の開催を通して、国内関係機関間の連携協力体制の推進

## 令和2年度から具体的な取組みへ

- ◆ 戦略WG ⇒ **活動報告-2**
  - 各分科会との連携(既存・継続活動のPDCA、戦略課題の議論)
  - 関係省庁との連携(省庁との連携サイクルの検討)